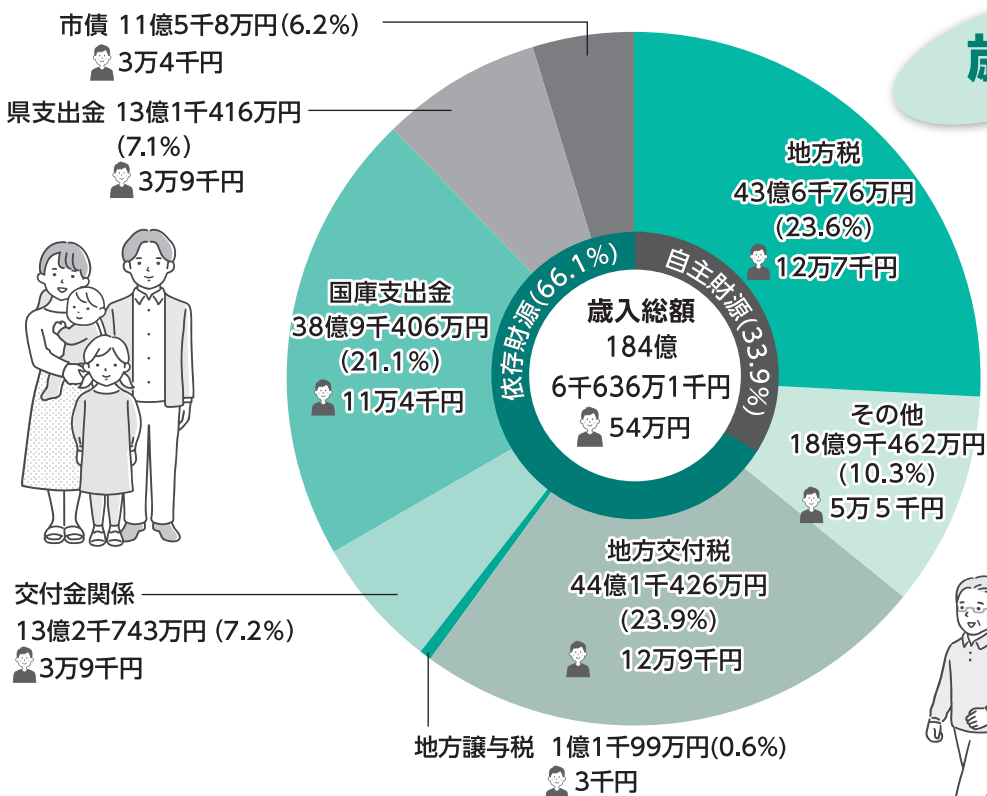


子育て支援、防災など各種施策の積極的展開によって、令和5年度を超える決算規模へ!



歳入

一般会計

一般会計は、歳入総額184億6千636万1千円、歳出総額181億2千33万9千円となり、3億4千502万2千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源は、4千401万7千円となりました。



その他 内訳

- 繰越金 5億2千138万円
- 使用料および手数料 2億4千510万円
- 寄附金 3億6千626万円
- 諸収入 4億2千756万円
- 分担金および負担金 5千530万円 など

交付金関係 内訳

- 地方消費税交付金 8億8千486万円
- 株式等譲渡所得割交付金 8千856万円
- 地方特例交付金 1億6千257万円
- 法人事業税交付金 8千229万円
- 配当割交付金 6千725万円 など

※ は市民1人あたりの金額(千円単位)
令和7年3月31日現在の人口3万4千213人で算出
※総額以外の各項目については万円単位で表記

令和6年度決算に基づく健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断基準(本市)	※(-2.33) -	※(-20.87) -	12.0	49.1
健全化判断基準(県内市平均)			8.2	27.1
早期健全化基準	13.46	18.46	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、比率が-(マイナス)時には数値として現れないため、黒字の比率をマイナス表示。
※県内市平均は速報値を単純平均して算出しているため、変動する場合がある。

令和6年度決算に基づく資金不足比率

	下水道事業会計	水道事業会計
資金不足比率	-	-
経営健全化基準	20.00	20.00

※資金不足比率は、比率が-(マイナス)のため、-表示。

小松島市の健全化判断比率・資金不足比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、毎年度、前年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率の公表を行っています。健全化判断比率、資金不足比率が一定の基準以上となった場合は財政健全化計画および財政再生計画の策定などが義務付けられています。

令和6年度決算に基づいた各指標の算定の結果、令和6年度健全化判断比率はいずれも早期健全化基準、財政再生基準を下回り、資金不足比率についても各企業会計において経営健全化基準を下回りました。

指標の説明など詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。



問 市財政課 ☎32・2191 / FAX33・3253 ✉zaisei@city.komatsushima.i-tokushima.jp

《今月は、固定資産税4期分、後期高齢者医療保険料5期分、国民健康保険税・介護保険料6期分の納付月です。》忘れずに納期限内に納めましょう。市税の納付は、確実・安心・便利な口座振替をご利用ください。

2025年(令和7年)12月5日
広報こまつしま

